



第31回例会報告 *通算例会回数4132回目* (3月16日 於 今治商工会議所2階 大会議室)

【 出 席 報 告 】

・会員数 52名
 ・当日出席率 61.00%
 <欠席会員>阿部、相原、平尾、平田、廣川、板脇、片山、小堀、楠橋、桑森、宮道、大澤、坂本、辰巳、渡辺、八木(真)、山本〔免除会員〕青野(明)、青野(淳)、檜垣(巧)、神道、冠、村上、八木(正)
 <3/2 欠席補填>(2/26 沖繩首里)阿部 (2/27 今治北)平田、廣川、板脇、小堀、楠橋、宮道、西本、大澤、越智、岡本重松、坂本、辰巳、渡辺、八木(真)、八木(伸)、山本、矢野

・出席数 28名
 ・欠席数 24名
 ・前々回修正出席率 100%

3月23日(木)は休会となっております。

ロータリー情報委員会アワー

◆重松宗孝ロータリー情報委員会委員長 題目『ロータリー米山よもやま話』

「ロータリー米山よもやま話」と題し、私(重松)と米山記念奨学会との関わりについてお話をさせていただきます。

●今治RCの誕生のお話…今治RCの産みの親は、大阪RCの村田省蔵氏です。村田省蔵氏は、1933年第70区ガバナーに就任し、翌年1934年の地区大会で、「人口5万人以上の都市には1クラブを創立すべし、しかし忠君愛国の拠点たらしむべし」とスローガンを掲げ、拡大を進めました。その人口5万人以上の都市の一つが今治で、その年の1934年10月17日に四国初のRCとし今治RCは誕生しました。

●私の米山記念奨学会への関わり方に影響した4つのお話…①2014年8月26日にノートルダム清心学園理事長渡辺和子さんの講演を松山で聞く機会がありました。▼渡辺さんは、36歳の時に大学学長に任命され悩んでいた時、一人の宣教師が短い英語の詩を手渡してくれたそうです。『Bloom where God has planted you』「置かれたところこそが、今のあなたの居場所なのだ」と告げるその詩は、渡辺さんを大いに励ましたようで「置かれた場に不平不満を持ち、他人の出方で幸せになったり、不幸せになったりしては、環境の奴隷でしかない。人間として生まれたからには、どんなところに置かれても、そこで環境の主人公となり自分の花を咲かせようと、決心することができた」と述べられました。結婚しても就職しても子育てをしても、「こんなはずじゃなかった」と思うことが出てきますがそんな時にも、その状況の中で咲く努力をして欲しいと強調されました。それでもどうしても咲けない時には、「雨風が強い時、日照り続きで咲けない日、そんな時には無理に咲かなくていい。その代わりに根を下へ下へと下ろして、根を張るのです。いつか大輪の花を咲かせるためにも、努力を続けることの大切さを教えてくれました。私も今治RCに入会し19年余りが経ち、与えられた場所で花を咲かせる努力をしてゆきたいと思っています。②オーストリアの精神科医のヴィクトールフランクルの教え…『人生に意味を問うな。私たちは人生から意味を問われる存在である。私たちは人生からの問いに答えなければならない。1)私は、この人生で、今、何をすることを求められているか？2)私のことをほんとうに必要としている人は誰か？その人はどこにいるのか？3)その誰かや何かのために、私にできることには、何かあるのか？』三つの問いを絶えず念頭に置きそれに取り組み毎日を生きることで心が癒されていく。この人生という言葉はロータリーに置き変えると…ロータリーに意味を問うな。ロータリーで自分を必要としている人は誰か？その人のために自分ができると毎日起り組んでいく。そうすることで、ロータリーで心が癒されていくと思っています。③中国の古典「壯子」の「恵子」…日本初のノーベル賞を受賞した物理学者湯川秀樹氏は恵子の立場を「論理を重視」する立場とし、壯子の立場を「直感を重視」する立場とした。もしも科学者の全てが、この両極端に固執していたとすれば、今日の科学の発展はあり得なかったと述べられている。▼この考えをロータリーに当てはめると、ロータリーに論理は必要であるが、恵子のように論理ばかりばかり通れば、ロータリーは殺伐としたものになり、恵子の論理の土俵を超越し、「それでも自分には他のロータリアンの痛み苦しみがわかる」と壯子の想像力を持つことこそ、私たちの目指すロータリーの礎となるのではないのでしょうか。④禅に破草鞋…禅僧はわらじが破れるまで修行を続けるべし、人間は誰も生涯現役であるべきという教えで、米山梅吉氏は「例会は人生道場。切礎球磨して自己研鑽に励む貴重な修練道場である」と述べる。例会場での親睦の中で諸先輩からよく学び自分を高め、例会場を出たら自分の会社に戻り、自分の職業を通じて世の中に奉仕なさい。つまり、例会の場は「入って学び、出でて奉仕せよ」なるわけでRCにおいても、わらじが破れるまで学び続けることができたらと願っています。

●最後に、米山記念奨学会を自分の居場所と信じて、私を必要としている奨学生のために、日本で安心して勉学に励めるように取り組んでいけたらと思っています。私は奨学生の本当の気持ちは分かりませんが、痛みや苦しみを出来るだけ汲み取り、ロータリアンとして、わらじが破れるまで支援できたらと願っています。ご清聴ありがとうございました。

次回例会(3月30日)

【 音楽花見夜間例会 】

日 時 : 2023年3月30日(木) 18:30~

場 所 : しまなみの杜リゾート

会 費 : 会員8,800円 ご家族(大人)7,700円

※ロータリーバッチの着用をお願いします。会費は、当日集金させていただきます。

※出欠の締切は、準備の都合上3月23日(木)午前中までとさせていただきます。